

東ティモール大統領選挙 団長所感

平成19年6月
国際平和協力本部事務局長
小澤 俊朗



大統領選挙決選投票

- ラモス・ホルタ候補(首相)とル・オロ候補(国民議会議長)の一騎打ち。
- 結果はホルタ候補(得票率69%)、ル・オロ候補(同31%)を抑え、圧勝。
 - ホルタ候補は、国民の反フレテリン感情をとりまとめることに成功。
 - ル・オロ候補は敗北宣言後、支持者に結果受け入れを呼びかけた。



ラモス・ホルタ候補



ル・オロ候補

日本選挙監視団の役割と活動

- 善意の傍観者
 - 選挙を監視し、不正の防止と選挙結果の受け入れに貢献
- 前回の選挙監視を踏まえ、関係当局に提言を提出。
- 政治リーダー達やUNMIT幹部との会談、記者会見にて日本のメッセージを伝達。



ディリ市内の投票所における監視活動



パウカウにおける開票状況の監視活動

今後の注目点(国民議会選挙)

- 14の政党及び政党連合が選挙に参加。
- 選挙結果受入れ等を内容とする政党間合意、選管作成の行動規範に全ての政党がコミット。



アルカティリ・フレティン幹事長(元首相)



治安維持の要: 国連警察部隊

- 現在の与党フレティンへの国民の支持動向が注目される。
 - 選挙前、フレティンの議席は88議席中、55議席。

東ティモールの課題と日本の取り組み

- 大きな支援ニーズ
 - キャパシティビルディング
 - 治安部門改革
 - インフラ整備
- 財政資金が豊かな最貧国(!?)
 - ソフトローンを活用した開発戦略を検討すべき時期か。
- 日本への期待と日本の果たすべき役割
 - 日本は過去の支援(ODA、PKO参加)、安保理での活躍等のアセットを生かし東ティモールの国づくり支援をリードしうる。

